

平成 30 年度 第 6 回 治験審査委員会 会議の記録の概要

日時：平成 30 年 10 月 18 日（木） 15:30～16:00

場所：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター第二会議室

出席者： 鶴飼 克明（委員長）	篠崎 毅（副委員長）	上之原 広司
江面 正幸	手島 伸	鈴木 靖士
木村 憲治	後藤 達也	遠藤 和美
青山 満理子	菅原 幸子	多田 恭子
長澤 良相	坂田 宏	伊藤 直之
大北 全俊		（敬称略）

※議題により審議・採決に参加しない委員あり

【審議事項】

- No. 1 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの第III相試験
審議内容：安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 2 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験
審議内容：安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 3 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの第II/III相試験
審議内容：安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 4 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験
審議内容：安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 5 セルジーン株式会社の依頼による未治療の濾胞性リンパ腫患者を対象としたリツキシマブ+レナリドミド（CC-5013）を投与した場合と、リツキシマブ+化学療法に続いてリツキシマブを投与した場合の有効性及び安全性を比較する第3相非盲検ランダム化試験
審議内容：安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認

- No.6 セルジーン株式会社の依頼による未治療のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫患者を対象としたCC-5013(レナリドミド)の第3相試験
審議内容： 安全性報告および治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.7 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（再発）の第III相試験
審議内容： 安全性報告および添付文書の発行に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.8 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（維持）の第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.9 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（移植）の第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.10 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（初発）の第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.11 Agios社のAML未治療患者を対象としたAG-120の第3相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.12 アストラゼネカ株式会社の依頼による心不全患者におけるダパグリフロジンの効果を検討する第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.13 （治験国内管理人）IQVIAサービシズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が保持された慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第III相試験
審議内容： 当院で発生した重篤な有害事象報告、安全性報告および実施計画書、別紙の改訂、治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認

- No.14 (治験国内管理人) IQVIAサービシズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が低下した慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第III相試験
 審議内容： 安全性報告および実施計画書,別紙の改訂,治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認
- No.15 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした, daratumumab, レナリドミド及びデキサメタゾン (DRd 療法) とレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd 療法) の比較第III相試験
 審議内容： 治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認
- No.16 大日本住友製薬株式会社の依頼によるDSP-7888の骨髄異形成症候群 (MDS) 患者を対象とした第1/2相臨床試験
 審議内容： 治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認
- No.17 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と静脈内投与を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験
 審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認
- No.18 第一三共株式会社の依頼による急性骨髄性白血病患者を対象としたキザルチニブ (AC220) の第III相試験
 審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認
- No.19 サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたSAR650984の第III相試験
 審議内容： 安全性報告および治験薬概要書の改訂に関して、治験継続の妥当性が審議された。
 審議結果： 承認

この他、下記の事項についても審議され、承認がなされた。

特定使用成績調査	2 件	(うち新規	2 件	・ 継続	0 件)
使用成績調査	1 件	(うち新規	0 件	・ 継続	1 件)
副作用・感染症症例報告	1 件				

【報告事項】

- No. 1 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による
(原題) A Phase 3, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction and Maintenance Therapy in Subjects with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis
(邦題)中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたUstekinumabによる寛解導入療法及び寛解維持療法の安全性及び有効性評価を目的とした第III相, 多施設共同, プラセボ対照二重盲検比較試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、安全性報告、治験薬概要書および同意説明文書の改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 2 小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-1162第III相試験 慢性心不全に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、安全性報告および治験実施計画書別紙の改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 3 ノバルティスファーマ株式会社の依頼によるLBH589D1201の第II相試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 4 第一三共株式会社の依頼による非弁膜症性心房細動患者を対象としたDU-176b (エドキサバン) 第III相試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 5 EAファーマ株式会社の依頼による中等症の日本人活動期潰瘍性大腸炎患者を対象としたE6007の臨床第2相, プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、安全性報告および実施計画書、同意説明文書、治験参加カードの改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 6 MSD株式会社の依頼による複雑性腹腔内感染症又は複雑性尿路感染症患者を対象としたMK-7655Aの第III相試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、付保証明および治験実施計画書別紙の改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 7 アストラゼネカ株式会社の依頼による重症喘息対象治験薬の有効性・安全性を評価する第III相試験
報告内容: 9月の本部中央審査において、治験実施計画書別紙、被験者への支払いに関する資料の改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。
- No. 8 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215 (再発) の第III相試験
報告内容: 依頼者より、製造販売承認に関する報告書が提出されたことが報告された。

No. 9 中外製薬株式会社の依頼による血友病A患者を対象としたRO5534262の第Ⅲ相試験

報告内容： 依頼者より、開発受託機関の住所変更に関する連絡文書が提出されたことが報告された。